




緊急アプリ

- [緊急アプリの概要](#) (1 ページ)
- [緊急モーション条件](#) (2 ページ)
- [緊急ボタンおよび非常ボタン](#) (4 ページ)

緊急アプリの概要

緊急アプリ  は、緊急の対応が必要な事故の際に助けを得るのに役立つ個人の安全アプリケーションです。組織で使用する場合、**緊急アプリ**は次のことができます。

- 動きを監視し、助けが必要な動きを示した場合は自動的にアラームを発します。
- 緊急支援が必要であることを知らせるために簡単に使用できる**非常ボタン**があります。

緊急アプリのモーション状態の監視と**非常ボタン**は、セキュリティアラームアプリケーションプログラムでも機能します。セキュリティアラームアプリケーションプログラムは、アラームを受信し、電話機、ユーザー、およびアラームが鳴っている電話機の場所を特定できます。



注意 意図的または非意図的に、**緊急アプリ**と**非常ボタン**をアクティブにしたときに、どのように動作するかを知っておくことが重要です。**緊急アプリ**を永続的に無効にしたり、オンまたはオフにすることはできません。組織での**緊急アプリ**の設定については、管理者にお問い合わせください。



警告 緊急アプリの有効性は多くの要因に依存するため、管理者がシステムを徹底的にテストすることが重要です。緊急アプリは、物理インフラストラクチャの機能と信頼性に依存します。

- ワイヤレス LAN
- LAN
- 通話サーバー
- アプリケーション管理サーバー
- 位置情報サービスをホストするサーバー
- 中央セキュリティシステムとそのサーバー

緊急アプリは、電話機の正しい構成、緊急アプリの構成とインストール、および適切なトレーニングにも依存します。

緊急モーション条件

施設の要件に基づいて、管理者は、感度レベルによって次の3つの緊急モーション状態を監視するように電話機を構成できます。

- **実行中** – 構成可能な秒数実行すると、電話機が揺れを検出します。
- **チルト** – 構成可能な秒数の間、電話が垂直になりません。
- **不動** – 構成可能な秒数の間、電話機は不動となり、ユーザーがこれ以上動かないことを示しています。

いずれかの緊急モーション状態が発生した場合、電話機は、差し迫ったアラームについて最初に警告します。構成可能な秒数以内に警告をキャンセルしない場合、電話機は次のことを行います。

- アラームを開始します。
- 構成されている場合、緊急通報を発信します。



(注) 緊急通話は、アクティブな通話をすべて終了します。

モーション条件警告をキャンセル

電話機が緊急モーションイベントを検出すると、電話機は警告状態になり、黄色の【警告 (Warning)】画面が表示されます。【警告 (Warning)】画面にはイベントのタイプが表示され、警告音が鳴り、警告タイムアウトがカウントダウンするにつれて音量が大きくなります。

警告をキャンセルすると、電話機はオーディオアラートをオフにし、アラームを送信せず、モーションの監視を再開します。



- (注) 警告状態の間も、電話機を使用して他の操作を行うことができます。ただし、警告はキャンセルするまで継続します。[警告 (Warning)] 画面に戻るには、通知バーを下にスワイプして通知をタップします。

手順

警告アラームと切迫アラームをキャンセルするには、黄色の[警告 (Warning)] 画面の矢印を左から右にスワイプします。

モーション条件アラームをキャンセル

緊急モーション状態の警告をキャンセルしないと、電話機はアラーム状態になります。アラームが鳴り、赤い[アラーム (Alarm)] 画面が表示されます。設定されている場合、電話機はアラーム通知を生成してセキュリティアプリケーションに送信し、緊急通報を発信します。

アラームにより緊急通報がかかってきた場合、自分または相手は通話を終了できます。ただし、手動でアラームをキャンセルするまで、電話機はアラーム状態のままです。



- (注) アラーム状態の間も、電話機を使用して他の操作を行うことができます。ただし、アラームはキャンセルするまで継続します。[アラーム (Alarm)] 画面に戻るには、通知バーを下にスワイプして通知をタップします。

手順

モーション条件アラームをキャンセルするには、赤い[アラーム (Alarm)] 画面の矢印を左から右にスワイプします。

モーション条件の監視を一時停止

管理者が設定した緊急モーション条件を無効化または変更することはできません。ただし、管理者がスヌーズ機能を有効にしている場合は、緊急モーション状態の監視を一時的に停止できます。このスヌーズ機能は、通常よりも長い時間、走ったり、傾けたり、静止したりする必要がある場合に役立ちます。



(注) 緊急通知には、利用可能なスヌーズ時間が括弧内に表示されます。

手順

ステップ1 通知バーを下にスワイプします。

ステップ2 スヌーズを開始するには、緊急通知をタップします。

ステップ3 スヌーズの残り時間を確認するには、通知バーをもう一度下にスワイプします。

ステップ4 スヌーズを停止するには、通知バーを下にスワイプし、緊急通知をもう一度タップします。

緊急ボタンおよび非常ボタン


組織の要件に基づいて、管理者は緊急時に使用する緊急ボタンと**非常ボタン**を構成できます。

非常ボタンをアクティブにすると、電話機はアラーム状態になります。アラーム状態での動作は、管理者が緊急ボタンと**非常ボタン**をどのように構成するかによって異なります。大きな警告音が鳴り、電話機が自動的に緊急番号に発信することもあります。



(注) 電話機がアラーム状態から緊急番号に発信すると、アクティブな通話は自動的に終了します。

非常アラームを有効化

管理者は、電話機の上部にプログラムされた赤い緊急ボタンと、緊急アプリ  の**非常ボタン**をいくつかの異なる方法で有効化するように設定できます。

- 長押し
- 2回の短押し
- 2回の長押しまたは短押し

電話機で非常アラームを有効にする方法については、管理者に問い合わせてください。




(注) 赤い緊急ボタンまたは**非常ボタン**を誤って押すと、ポップアップに非常アラームのトリガー方法が表示されます。

管理者は、**非常ボタン**をアクティブにしたときに実行されるアクションを構成します。たとえば、**非常ボタン**は自動的に次の操作を実行します。

- 緊急通話の発信。
- スピーカーフォンをアクティブにする。
- スピーカフォンによる通話発信。

手順

次のいずれかを実行します。

- プログラムされている場合は、指示に従って、電話機の右上にある赤い**緊急ボタン**を押します。
 - 緊急アプリ  から、指示に従って赤い**非常ボタン**をタップします。
-

非常アラームを解除する

非常アラームがアクティブな場合、準備ができ次第緊急通報を終了できます。ただし、手動でアラームをキャンセルするまで、電話機はアラーム状態のままです。

手順

非常アラームをキャンセルするには、赤い**[非常 (Panic)]**画面の矢印を左から右にスワイプします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。